

平成25年3月15日
東 京 大 学

東京大学の学部入試方法の変更について

本学では、総合的な教育改革の一環として、多様な学生構成を実現し、学部教育を活性化する観点から、入試改善を重要な課題と位置づけ、前期日程試験及び後期日程試験からなる一般入試の在り方を中心に検討を進めてきました。

本学のアドミッション・ポリシーは、「期待する学生像」として、「世界的視野をもった市民的エリート」の育成という「教育理念に共鳴し、強い意欲を持って学ぼうとする志の高い皆さんを、日本のみならず世界の各地から積極的に受け入れたい」という考え方を示しています。また、「入学試験の得点だけを意識した、視野の狭い受験勉強のみに意を注ぐ人よりも、学校の授業の内外で、自らの興味・関心を生かして幅広く学び、その過程で見出されるに違いない諸問題を関連づける広い視野、あるいは自らの問題意識を掘り下げて追究するための深い洞察力を真剣に獲得しようとする人」を歓迎する方針を掲げています。

こうしたアドミッション・ポリシーをよりよく実現するため、本学では、入学者の選抜方法・尺度を多元化し、高等学校等での学習成果を適切に評価する観点から、基本となる前期日程試験を維持しつつ、後期日程試験の後継として推薦入試を導入することといたしました。導入予定の推薦入試の基本的な枠組みは別紙のとおりであり、引き続き具体化に向けた検討を行い、詳細な出願要件や選抜方法等を決定次第、速やかに公表いたします。

別紙

推薦入試の基本的な枠組み

平成25年3月
東 京 大 学

1. 募集人員

100名程度（内訳は科類ごとに設定予定）

2. 出願資格・時期

（1）出願資格

高等学校等を卒業若しくは卒業見込みであり、特定の学問分野に対する強い関心、これを本学で学ぶ積極的な意欲を持ち、学校長が責任をもって推薦できる者（各学校長が推薦できる人数は、1～2名の予定）

（2）出願時期

入学前年の11月1日以降に入学願書を受け付け

3. 選抜方法

本学の教育課程を履修するために必要な基礎学力を備えていることを前提に、志望分野への適性を重視しつつ、高等学校段階の学習成果や卓越した能力を積極的に評価

① 出願書類、面接等の審査結果及び大学入試センター試験の成績によって総合的に評価し、合格者を決定

② 志願者数が募集人員を大幅に上回る場合には、出願書類により第1段階選抜を実施

4. 入学後の対応

志望分野に対する関心や学ぶ意欲に応えるよう、入学後の履修方法や学部・学科等の進路選択に配慮

5. 導入時期

平成28年度入試から導入予定